

救急医学

責任者・コーディネーター	救急医学講座 井上 義博 教授		
担当講座・学科(分野)	救急医学講座、岩手県高度救命救急センター		
担当教員	井上 義博 教授、吉田 雄樹 准教授、山田 裕彦 特任准教授、鈴木 泰 講師、中舘 俊英 講師、藤野 靖久 講師、照井 克俊 講師、大間々 真一 特任講師、小鹿 雅博 特任講師		
対象学年	4	区分・時間数	講義 15.0 時間
期間	前期		

・学習方針（講義概要等）

生命を脅かす傷病は突然人々を襲う。外傷や中毒、心筋梗塞や脳卒中など短時間のうちに人の命を奪っていく。重症度の高い傷病者に対して、刻々と変化する病態に対応して速やかに適切な診断、そして処置を行う能力を学習しなければならない。さらに、応急処置にのみとらわれず科学的根拠に基づいた治療を目的とし、必要な知識と思考力を養うことが重要である。

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

・教育成果（アウトカム）

救急医学教育の基本は、救急患者の緊急性および重症度の判断ができる能力を養うことにある。講義内容は、既存の各科領域との重複をできるだけ避け、かつ各科領域の応用医学として位置付け組み立てていく。

・到達目標（SBO）

発熱、頭痛、腹痛などの一般的な症状、ショック、意識障害、呼吸困難などの重篤な症状を通して症候論的に思考し、的確な鑑別診断に至る過程（診察、緊急検査）を講義する。緊急度の高い重症患者では、緊急処置が診断と同時進行か、時には診断に先行しなければならない。気管内挿管、除細動、輸液、中心静脈路確保、胸腔ドレナージ、緊急薬品使用などの理論と実際を講義する。各種診断書の書き方、感染症新法、食品衛生法、麻薬取締法、各種届出義務など救急医療関連法規についても触れる。

・講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/3	金	3	救急医学講座	井上 義博 教授	救急医学概論
4/3	金	4	救急医学講座	井上 義博 教授	急性中毒、環境異常
4/10	金	3	救急医学講座	吉田 雄樹 准教授	頭部外傷
4/10	金	4	救急医学講座	藤野 靖久 講師	吐血・下血、異物誤飲
4/17	金	3	救急医学講座	鈴木 泰 講師	腎損傷、腎不全
4/17	金	4	岩手県高度救命救急センター	大間々 真一 特任講師	意識障害・痙攣
4/24	金	3	救急医学講座	山田 裕彦 特任准教授	広範囲熱傷
4/24	金	4	救急医学講座	中館 俊英 講師	呼吸不全・溺水、誤嚥
5/1	金	3	岩手県高度救命救急センター	照井 克俊 講師	心肺蘇生法・不整脈
5/1	金	4	岩手県高度救命救急センター	小鹿 雅博 特任講師	急性腹症、腹部外傷、胸部外傷・多発外傷・ショック

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	標準救急医学 5 版	有賀 徹 編	医学書院	2014

・成績評価方法

試験成績により評価する。

・特記事項・その他

救急医学概論および救急疾患の診断・治療に関する総論的領域と症候を中心とした領域に大別する。

1. 総論的領域

(1) 救急医学概論：救急医療体制、搬送、情報、災害救急、救急関連法律など

(2) 救急医療総論：鑑別診断、検査・処置、心肺蘇生、緊急薬品、呼吸・循環管理、体液管理、多臓器不全、DIC、SIRS

2. 症状を中心とした領域

(1) 侵襲と生体反応・ショック

(2) 意識障害・痙攣

(3) 呼吸困難

(4) 心臓発作・不整脈

(5) 腹痛

(6) 吐・下血

(7) 多発外傷

(8) 熱傷

(9) 中毒

(10) 自然環境障害（熱中症、減圧症、低体温など）

(11) 異物誤飲・誤嚥

(12) 小児科救急

* 時間的制約で消化できない分野は第 5 学年の臨床実習の小講義で補足する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	長期人工呼吸器	20	呼吸器管理の教育
講義	O2、CO2 などの呼吸モニター	各 20	
講義	胸腔ドレナージセット	10	胸部外傷患者管理の教育
講義	止血セット	2	救急患者の緊急止血の教育
講義	人工肺蘇生装置、除細動器等の蘇生セット	6	救急患者処置と心肺蘇生の教育
講義	CPR 訓練用マネキン、気管挿管練習用モデル等	10	救急患者処置と心肺蘇生の教育
講義	集中治療監視装置	3 式	
講義	心拍出量測定装置、代謝モニター	1	重症患者管理の教育
講義	内視鏡セット（上部、下部消化管用、気管支用、膀胱用）	各 3	消化管、膀胱、気管の内視鏡検査と保存的治療の教育
講義	内視鏡用上部消化管モデル	3	
講義	大動脈内バルーン・ポンプ心臓ペースメーカー	2	救急患者の循環補助手段の教育
講義	人工透析装置、血液凝固計、ベツトスケール	4,2	救急医療における腎不全患者管理の教育
講義	麻酔器、患者監視装置	2	
講義	神経診療用セット	1	外来麻酔と緊急麻酔の教育
講義	診断器セット	1	救急患者の検査診断教育
講義	循環器総合診断システム	1	救急患者の検査診断教育
講義	中毒物質分析装置	1	救急患者の検査診断教育

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	顕微鏡	1	救急患者の検査診断教育
講義	脳波	1	救急患者の検査診断教育
講義	心電図	2	救急患者の検査診断教育
講義	血流記録計	1	救急患者の検査診断教育
講義	聴性誘発反応検査装置	1	救急患者の検査診断教育
講義	X線装置	3	救急患者の検査診断教育
講義	CT スキャン	1	救急患者の検査診断教育
講義	カラードプラ	1	救急患者の検査診断教育
講義	電子走査超音波診断装置（胸部用、腹部用）	3	救急患者の検査診断教育
講義	体温自動冷却加温装置	1	新生児の救急医療教育
講義	新生児処置台	1	新生児の救急医療教育
講義	搬送用保育器	1	新生児の救急医療教育
講義	輸送ポンプ	30	
講義	ニューモガード	1	
講義	血液成分分離装置	1	肝障害や中毒症における血液交換及び成分輸血の教育
講義	骨折、開頭、開腹等の緊急手術器具	各セット	手術用器具と緊急手術の教育
講義	VTR 装置	1	救急医学の視聴覚教育
講義	外科救急手技ビデオ	2	救急医学の視聴覚教育

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	医用テレビシステム	1 式	救急医学の視聴覚教育
講義	8 ミリビデオセット	1	救急医学の視聴覚教育
講義	パーソナルコンピューター	3	救急医学の視聴覚教育
講義	プロジェクター	2	救急医学の視聴覚教育
講義	人骨標本	1 体分	人体骨格及び解剖の教育